

令和7年度 江戸川区立鹿骨中学校 特別活動全体計画

校長名 東原 貴行

学校の教育目標	・みずから学び、考えて行動する生徒 ・思いやりのある豊かな心をもった生徒 ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
目指す生徒像	○集団や社会の一員として、自主的・実践的な態度で様々な活動に取り組める生徒(意欲と行動力) ○望ましい人間関係などの社会性を築くことができる生徒(規範意識と豊かな人間性) ○人間としての生き方を探求し、自己を生かす能力や態度をもった生徒(望ましい職業観・勤労観と自己教育力)
特別活動の重点目標	様々な集団の中で互いに理解し合い、高め合い、個人と個人・個人と集団・集団と集団が互いに作用し合いながら、集団活動や体験的な活動を通して、それぞれの個性を認め合い、集団の目指すべき目標や集団規範を設定する力・互いに協力し合って望ましい人間関係を築く力を育成する。

		学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
	指導の方針	(1) 学級成員に共通する問題を取り上げ、自主的・実践的な活動を通して学級や学校生活づくりを図っていく。 (2) 生徒が直面している問題とのかかわりの中で人間としての生き方を探求する。また、人間の諸活動の基礎となる健康安全や食を中心として諸課題に対応するとともに、健全な生活態度や習慣の形成を図っていく資質や能力を育成する。 (3) 生徒一人一人が、学ぶこと・働くこと・生きることについて自己の問題として真剣に受け止める。それぞれの深い結びつきを理解し、様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していけるようにする。	学校における自分たちの生活の充実発展や学校生活の改善向上を目指し、生徒の立場から自発的・自治的に活動できるように援助する。望ましい人間関係を形成する中で、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育成する。	学校行事の中に他の教育活動の成果を総合的に取り入れ、その発展を図って効果的に展開されるようにする。また、日常の各教科等の学習を充実したものにすることによって、学校行事でも大きな成果をあげ、学校生活を真に豊かで実りあるものにしていく。
主な指導内容	主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり 学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上 (2) 適応と成長及び健康安全 思春期の不安や悩みとその解決、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解と参加、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への対応、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成 (3) 学業と進路 学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計	(1) 生徒会の計画や運営 新入生歓迎会、生徒総会、生徒会役員会、中央委員会、生徒会役員選挙、学校新聞や生徒会誌の発行 (2) 異年齢集団による交流 新入生歓迎会、学芸発表会、校内球技大会などレクリエーションにかかわる活動、小学校訪問、新入生体験入学 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 専門委員会・中央委員会における活動 (4) 学校行事への協力 運動会、学芸発表会への協力 (5) ボランティア活動などの社会参加 生徒会主催による地域美化活動や校内美化活動	(1) 儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、開校記念に関する儀式、着任式、離任式 (2) 文化的行事：学芸発表会、校内作品展、弁論大会、音楽鑑賞教室、講演会、健康安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事 (3) 健康安全・体育的行事：身体測定、薬物乱用防止教室、防犯教室、交通安全指導、避難訓練、防災訓練、運動会、球技大会、連合陸上競技会、オリンピック・パラリンピックに関する講演会 (4) 校外学習・宿泊行事：遠足、修学旅行、林間学校、その他野外活動 (5) 勤労生産・奉仕的行事：職場体験、各種の生産活動、上級学校や職場の訪問・見学、全校美化活動、地域社会への協力や校内外ボランティア活動
	各教科・読書科	学級活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりすることもある。このような取組を通して自己の伸長を図るとともに、諸活動の基礎となる能力を、国語科や読書科をはじめ各教科の学習を通して培う。学級活動における自発的な実践活動によって各教科で培われる能力が発展的に一層高められたり、深められたりする。また、保健の学習を通して、健康安全に関する意識を高めることができる。	生徒会活動における話し合い活動、言語等による表現や発表などが重要である。また、活動の企画・立案を行ったり、調査を行ったりすることもある。こうした活動の基礎となる能力を、国語科や読書科をはじめ各教科の学習を通して培う。生徒会活動における自発的な実践活動によって各教科で培われる能力が発展的に一層高められたり、深められたりする。	学芸発表会については、国語科、社会科、美術科、技術家庭科、読書科などの学習と関連を図る。また、運動会については、保健体育科の学習成果の発表としての視点を明確にする。
他の教育活動との関連	特別の教科 道徳	自分勝手な行動をとらずに節度ある生活をしようとする態度、自己の役割や責任を果たして生活しようとする態度、望ましい人間関係を確立しようとする態度、集団や社会の一員としてみんなのために進んで働くこととする態度、自分たちで約束をつくって守ろうとする態度、目標をもって諸問題を解決しようとする態度、自己のよさや可能性に自信をもち、集団生活を行おうとする態度などの道徳性を、集団生活を通して身に付ける。	生徒がよりよい生活を築くために、自ら諸問題を見いだし、これを自主的に取り上げ、協力して解決していく自発的・自治的な生徒会活動を通して、望ましい人間関係の形成やよりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付ける。	いずれの行事についても道徳性を養うことを重視するが、特に次の行事については重点的に扱う。 ・薬物乱用防止教室、防犯教室：生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・学芸発表会：学級や学校の一員としての自覚をもち、集団生活の充実に努めようとする心情を育む。 ・儀式的行事：日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。
	総合的な学習の時間	学級活動における集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度と、総合的な学習の時間で育成する問題をよりよく解決する資質や能力を、相互に役立たせるようにする。	様々な生徒会活動の実践を通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力や課題解決能力などを育成するとともに、その成果を総合的な学習の時間の諸活動に役立てていく。	総合的な学習の時間の趣旨を踏まえ、職場体験活動とボランティア活動を勤労生産・奉仕的行事の実施に替える。また、環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる自然体験活動を旅行・集団宿泊的行事の実施に替える。いずれも、学校集団や学校生活への所属感を深め、望ましい人間関係の形成や公共の精神などを養う活動であることを配慮する。また、オリンピック・パラリンピックに関する講演会等を実施し、健康、スポーツ、文化等の関わりについて考えさせる。
家庭や地域との連携	家庭や地域との連携	生徒は学級や学校の一員として学校生活を送るとともに、家庭や地域の一員として生活している。学級活動の指導においては家庭や地域等との連携・協力が重要な意味をもつことを重視し、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。(3)の指導においては、地域人材の活用を図り、関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を計画していく。	必要に応じ、校内の活動だけでなく、他校との相互交流を図ったり地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図る。そのためには家庭や地域との連携を深めることが重要である。地域の自然や文化・伝統を生かし、社会教育施設等を活用した教育活動を工夫していく。	家庭や地域の人々との連携を深め、その教育力の活用を図ったり地域の自然や文化・伝統を生かしたりするなど、社会教育施設等を活用する活動が展開できるよう工夫する。特に「花のまち 鹿骨」という地域の特色を生かした活動をする。
	備考	週の時間割に位置づける。 金曜日 6校時(年間35単位時間)	専門委員会 月1回程度 中央委員会 年2回程度 生徒総会 年1回 生徒会役員選挙 年1回	